

# 2009 年度地区大会反省会議事録

2009/11/3 (晴海総合高校)

## ①舞台芸術学院

- ・終了後、人がたまっていた。←早く帰る、注意しあう
- ・客が多かった。
- ・スタッフの方が親切
- ・チラシ不足←運営の指定枚数を守る、情報は早めに
- ・保護者が入れない→お手伝い校の数を会場の大きさによってばらけさせる

## ②晴海総合高校

- ・アナウンスがなかった。ごたごたしていた。→仕事内容を事前に決めておく
- ・アナウンスのタイミングが掴めなかった←ブースと舞台に連絡がいくようにする
- ・客電を消す人が分からなかった→連絡不足
- ・搬入の時間が分からなかった（リハ）→上演校同士で連絡する
- ・スピーカーの不具合について
- ・舞台の上手奥がうるさかった→裏に行ったら静かにする。控え室にも「〇分押し」などの連絡をする。
- ・晴海の生徒さんたちにとってもよくしていただいた

## ③駒込高校

- ・チラシ提出→一番はリハ時。無理なら当日の朝いちにスタッフに出す
- ・準備がよかった
- ・客席に物を落とさないようにする
- ・木などを使うときは掃除をする
- ・スタッフはすぐにブースへ行く
- ・搬入の練習を自校で練習すること。
- ・人の出入りについて→生徒のドア係を外と内に一人ずつ配置する。
- ・音はMD がよい
- ・冷房が寒かった。→寒い人は前の座席へ
- ・台本を早く
- ・リハが早すぎて活かせなかった→やる側の工夫
- ・搬入をいつやればいいのか分からなかった→指示出す人をつくる。

\* 全体

- ・ 終了後のものの管理→落とし物の連絡の時間をとる、アナウンスなどで呼びかける
- ・ プログラム変更の事前準備→最新情報版（ホワイトボードなど）を用意する
- ・ 指示する人がいなかった
- ・ 連絡網をつくり、部長同士で連絡
- ・ 楽屋の使用時間→連絡網を活用
- ・ 勉強になった
- ・ 鑑賞マナーの確認←最低限守ること！
- ・ 上履き等の連絡←基本持ってくる
- ・ インフル予防→注意書きを貼る
- ・ アナウンス工夫←基本お手伝い校がおこなう。自校でやりたいところは申請。
- ・ お手伝い校のリーダーをつくる（その日のリーダー）

マナー

- ・ カップラーメンを食べながら校内へ入る×  
飲食は決められたところで
- ・ 途中入場は静かにすること  
上演中は普通に歩くな！
- ・ アナウンスの手順  
「ただいまより～」→客電オフ→スタート  
演目、作者などの読み方は事前に確認

新・中央地区委員

委員長	神山慎太郎	(暁星2年)
副委員長	市川大成	(暁星2年)
	今岡航太	(日大豊山2年)
	下山未来	(新宿2年)
	長谷川達也	(豊島2年)
書記	藤松祥子	(新宿1年)
広報長	鶴間由衣花	(戸山2年)
広報	川添駿	(暁星1年)
	西嶋優理子	(戸山1年)
	福村朝世	(駒込1年)
	森本雅美	(戸山1年)